令和４年　５月「月　報」

１　はじめに

５月５日現在、新型コロナウイルス新規感染者数は、２０，７７９人と第６波ピーク時と比較すれば漸減していますが、なかなか下げ止まりとならない状況が続いています。

新型コロナの感染確認以来、まん延防止等重点措置などの行動制限のないGWを迎え、行楽地では人流が増加し再び感染拡大が心配されます。

しかしながら３回目のワクチン接種も終えつつある国民の多くに、『感染対策（マスク、手洗い、３密回避等）をしっかり行えば、感染を極限でき、普段通りに行動しても良い』とのWithコロナの認識(感覚)が定着しつつあるように感じます。

一方、ロシア軍による２月の侵攻開始から２か月以上経過したウクライナ戦争は、西側諸国のウクライナへの武器等の支援及びロシアへの経済制裁、ロシア軍内の諸問題など色々な要因により戦線は膠着状態となり、ウクライナ国民の犠牲が増える中、早期の停戦交渉には程遠い状況になりつつあります。

このようなウクライナの惨状を受け、わが国は、ウクライナへの防衛装備品等の追加援助や、ウクライナ避難民支援のための国連救援物資の自衛隊機による輸送を決め、西側諸国の一員としてウクライナへの支援を継続しています。

また、政府は、今年末までに国家安全保障戦略、防衛計画大綱、中期防衛力整備計画の防衛３文書を改定するとの方針を掲げ、わが国周辺の安全保障環境や今回のウクライナ戦争から得られた教訓などを踏まえ、策定作業を加速させています。

不安定な国際情勢を踏まえ、わが国の防衛を担う自衛隊への国民の期待は益々増大することが予想されます。このため、隊員募集支援や家族支援協力などの本会による自衛隊の活動支援が、益々重要になると思います。

２　防衛省・自衛隊の活動

（１）ウクライナへの自衛隊装備品等の追加提供

政府は、３月８日の国家安全保障会議（ＮＳＣ）で、防弾チョッキ、鉄帽等の防衛装備品をウクライナへ無償提供することを決め、自衛隊機や米軍機等で輸送を行い、支援を行ってきました。

４月１３日、岸防衛大臣は、オレクシーレズニコフウクライナ国防相とテレビ会談を行い、我が国として引き続き最大限の支援を行っていくことを約束しました。

これを受け、同１９日、新たに化学兵器等対応用の防護マスク及び防護衣並びにドローンなどをウクライナ政府に提供しました。

（２）国連のウクライナへ支援物資を自衛隊機で輸送

４月２８日、政府は、ウクライナ避難民支援のため国連平和維持活動協力法に基づく「人道的な国際救援活動」として、自衛隊が毛布などの救援物資をUAE（アラブ首長国連邦）のドバイにある国連の備蓄倉庫からポーランドやルーマニアに運ぶ計画を閣議決定しました。

これを受け、航空自衛隊は、５月１日、その第１陣となる航空支援集団のC－2輸送機１機を入間基地（埼玉県）からポーランドへ出発させました。

防衛省によると、６月末までの間に週１回程度で輸送を行う予定です。

第１陣が入間基地を出発

（３）withコロナも定着し全国各地で入隊・入校式の挙行

自衛隊でもwithコロナが定着し、①屋外での入隊式の実施、②隊員同士の離隔、③来賓やご家族などの参列者の制限などあらゆるコロナ感染防止対策を工夫し、新入隊員の晴れの門出を祝う入隊・入校式が全国各地の教育部隊等で挙行されました。その一部を写真で紹介します。

屋外での入隊式

航空教育隊（防府南）

隊員同士の離隔

海自航空学生（小月）

パーテーション隔離

第１０即応機動連隊（滝川）

３　家族会の活動

（１）冬季北京オリンピック参加選手の訪問受け

４月１２日、冬季北京オリンピック大会に参加した体育学校の選手７名と豊田体育学校長が家族会事務局を訪問し、伊藤会長へオリンピックの成果等について報告するとともに懇談しました。

オリンピック参加選手との記念写真

選手との懇談の様子

（２）「入隊者に係る個人情報の取り扱い」に関する協定書の締結（岐阜県家族会）

４月１５日、岐阜県家族会（田辺敦啓会長）は、岐阜地方協力本部長（井口裕康１等空佐）との間において、**「入隊者に係る個人情報の取り扱い」**に関する協定書を締結しました。（全国で５例目）

井口岐阜地本長は、積極的に家族会との連携、情報の共有を推進され今回の協定書締結となりました。今後は、家族会の会員増強と募集協力を推し進めたいとの強い決意を表明されました。

田辺家族会会長は、コロナで活動が制限される中、今回の協定書締結により、少しでも前進したいとの意気込みを示しました。

井口本部長と田辺会長による締結

（３）家族支援協力に関する協定書の締結（新潟県自衛隊家族会）

新潟県自衛隊家族会（早川澄夫会長）は、３月３０日、新潟県隊友会（北條雄一会長）ともに、高田駐屯地（司令：第５施設群長比嘉隼人１等陸佐）及び新発田駐屯地（司令：第３０普通科連隊長遠藤祐一郎１等陸佐）並びに新潟地方協力本部（本部長：小見明之１等陸佐）との５者間で、**「新潟県に所在する隊員家族の支援に対する協力に関する協定書」**を締結しました。

コロナ禍のため、署名回覧方式による協定書締結後、早川新潟県家族会会長は、「今後は、県内各地域協議会、地区会に対し、①支援態勢の充実、②連絡網の整備、③支援者の指名、④部隊側との窓口の周知等を整斉と整備して参ります。

また、県内には海上・航空の部隊も所在しますので、双方とも必要な諸調整を行って、部隊・隊員から信頼される家族会となり、隊員が後顧の憂い無く職務に邁進できる環境づくりに尽力していきます。」と抱負を述べました。

調印する小見新潟地本長と早川会長

（４）With コロナ下の家族会活動

ア　牛深ハイヤー祭りでの募集広報支援（天草市自衛隊家族会牛深分会）

４月１６・１７日に開催された天草市主催の「第５０回牛深ハイヤー祭り」に天草市自衛隊家族会牛深分会の岩﨑成孝（しげたか）分会長ほか６名の会員が、熊本地本天草駐在員事務所が行う募集広報を支援しました。

当日は、コロナ感染症対策を万全にして、自衛官募集リーフレットなどを多くの来場者へ配布する支援を行いました。また、岩﨑会長は、牛深ハイヤー祭りを支援した第８音楽隊の活動を激励するともに隊員の労をねぎらいました。

募集広報支援後の写真

イ　射撃訓練参加米国海兵隊員の出迎え行事（大分県自衛隊家族会）

４月１１日、大分県自衛隊家族会（江藤勝彦会長）は、大分県隊友会及び地元有志とともに、２年振りに日出生台演習場で１６日から実施される射撃訓練に参加する米国海兵隊員の出迎え行事を例年どおり実施し、歓迎の意を表するとともに訓練の必要性を県民にも示すことができました。

当訓練は沖縄のキャンプハンセンで行われていたものを沖縄県の痛みの分散のため平成９年から本土で行うようになり、毎年２月に行われていました。

今回は初めて４月の実施で、４時間前から準備・待機したことから歓迎横断幕を長時間掲示したことになり、通行する多くの一般の方々の目にとまり関心を持っていただくとともに、ウクライナ情勢から改めて日米同盟による安全保障の重要性を考えて頂く機会になったと自画自賛しています。

残念ながら当日のテレビ報道は、全て反対住民の様子を放映するのみで、相変わらずの偏向報道を今回も感じました。

大分県家族会は、年度の事業計画に国民運動に対する協力の推進として当訓練の理解増進を掲げており、今後も継続します。（大城事務局長文責）

射撃訓練歓迎の横弾幕を掲示

ウ　横須賀教育隊での入隊式における自衛隊家族会への入会説明会（神奈川県家族会）

４月８日、海自横須賀教育隊（司令：遠藤昭彦 1 等海佐）では、今年度入隊の海曹候補生 648 名、自衛官候補生 245 名の入隊式が行われました。

今年の入隊式では、ご家族の参加制限はなく、晴天の中、多くのご家族が式典に参加していました。

神奈川県自衛隊家族会（小松龍也会長）は、式典終了後の隊員家族に対する厚生案内の際に自衛隊家族会を説明する機会を頂き、午前・午後の２回に分け各３３０名のご家族に対して、自衛隊家族会への入会説明を実施しました。

説明終了後、神奈川県内のご家族に限らず、多くのご家族から直接入会届を頂くとともに、具体的な家族会の活動等や自衛隊に対する知見が少ない中で、親自身の不安を払しょくするかのように多くの質問が寄せられました。

帰り際、親御さんから「これで少し安心した。」との声も聞かれ、「家族会の入会説明が良かった」と感じました。（小松会長文責）

入会説明を行う小松会長

エ　一般陸曹候補生教育入隊式における自衛隊家族会への入会案内（福岡県家族会）

４月９日、福岡県自衛隊家族会(與國洋会長)は、第１９普通科連隊（福岡駐屯地）が担任する一般陸曹候補生課程教育入隊式に参加し、１１６名の候補生の入隊を祝

福するとともに、前期教育での奮闘（活躍）を激励しました。

入隊式では、１４４名のご家族が見守る中、國分候補生による宣誓が力強く行われ、その迫力にご家族からの拍手が沸き上がりました。

コロナ感染防止の観点から会食はありませんでしたが、決意を新たにした笑顔溢れる候補生の姿が随所に見られ、微笑ましく思える入隊行事でした。

この間、福岡県自衛隊家族会は、ご家族に「おやばと」や「しおり」を手渡しながら、家族会の活動とともに、入会のご案内をしましたが、「子供と一緒に自衛隊の活動を支えるため入会します」、「協力します」などと嬉しい反応を多く頂きました。

（與國会長文責）

入隊者家族への入会案内

オ　家族会活動スナップ

防災教育を担当する隊員を激励

福山市自衛隊家族会（渡邊政夫会長）

入隊予定者の出発・壮行行事支援

熊本県自衛隊家家族会

ご両親に晴れ姿披露の新隊員

福知山駐屯地入隊式

陸自苗穂分屯地研修

札幌家族会東区支部（藤田恵子支部長）